

別紙

日清紡精機広島株式会社 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日清紡精機広島株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋台1丁目3番30号

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業 (3113)

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23(2011)年度を基準年度とし、平成24(2012)年度から平成28(2016)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

日清紡精機広島株式会社環境方針

(1) 汚染の予防

自動車部品製造及び関連事業活動において、エネルギー、水、原材料及び油脂等の使用量を低減し、資源を節約するとともに、省エネ・廃棄物の削減及び汚染の防止に努める。

(2) 環境負荷の軽減

環境改善に役立つ製品の開発・製造・販売を積極的に推進し、環境負荷の軽減に貢献する。

(3) 法的及びその他の要求事項の順守

法律、規制、及び当社が同意する要求事項を順守する。

(4) 継続的改善

環境目的・目標を定め、その達成に努めると共に、環境方針の見直し、環境パフォーマンスの継続的改善を図る。

(5) 環境保全意識の高揚

教育・啓蒙活動を推進し、当社で働く全ての人々及び著しい環境側面に関連する供給者に環境方針の周知徹底を図る。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成23年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素	燃料の使用		315	315
	他人から供給された電気の使用		2398	2398
合 計			2713	2713

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC PFC SF ₆				
合 計				

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産数量(単位:千台)

単位：排出量(t-CO₂) , 原単位量 (kg等) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 23年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 28年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	2,713	1,956	1.387	5.0	2,581	1,960	1.317
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	2,713	1,956	1.387	5.0	2,581	1,960	1.317
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)			0.4852	5.0			0.4609
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は原単位ベース年1.0%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	重油使用量を原単位で5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理(夏28℃設定) ・空調機の運転時間短縮
2	電気使用量の削減	電気使用量を原単位で5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理(夏28℃設定) ・空調機の運転時間短縮 ・高効率照明器具への更新 ・休憩時間の消灯の徹底 ・エアコンプレッサの運転負荷低減 ・エア圧力設定の適正化 ・生産設備の効率的な運用
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

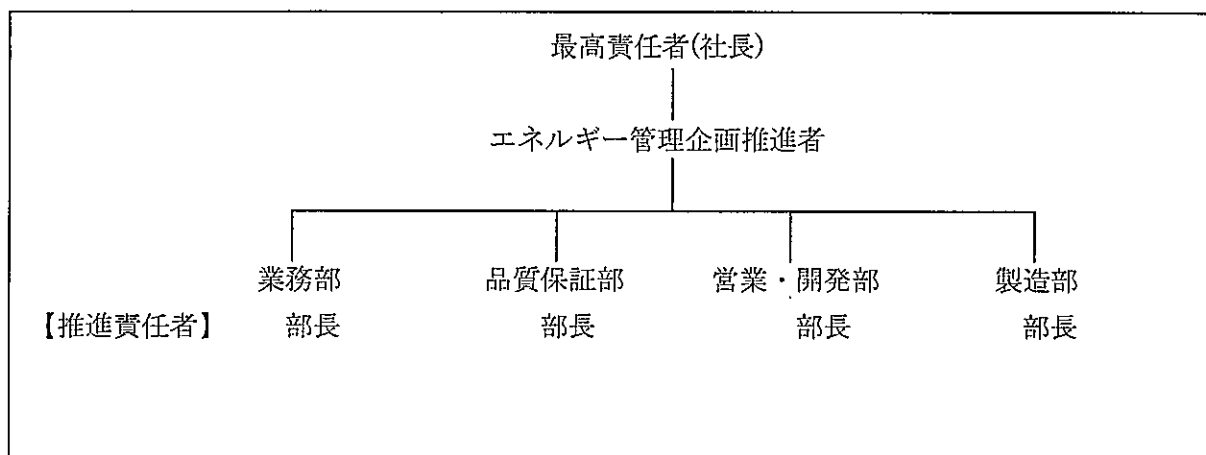
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

業務部を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、環境会議、部長会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

当社のホームページ上で公開する。